



令和8年5月、小樽と札幌へ行って来ました。当初は弾丸日帰り旅の第3弾として札幌日帰りを計画したのですが、以前から小樽にも行ってみたいかったとの家内からの要望に応え、今回は小樽で1泊する2日間の旅行に決めました。

利用した空の便はフジドリームエアラインズ (FDA) の「名古屋小牧～札幌丘珠便」。ご存じない方もおられると思いますが、夏ダイヤ限定で県営名古屋空港から札幌都心に近い丘珠(おかだま)空港へ飛ぶ路線があるのです。今回の航空券は FDA が1月に実施したバーゲンセールで購入したもので、2人分往復で燃油サーチャージ込み4万6千8百円とかなりお値打ちでした。

県営名古屋空港から飛行時間約90分で札幌丘珠空港到着。空港からの最寄駅は地下鉄東豊線栄町駅で、距離にしてわ

ずか1・3キロ。シャトルバスや路線バスで乗車時間は5分ほど。地下鉄「栄町駅」から10分ほどの乗車でJR札幌駅への乗換駅「さっぽろ駅」到着。

丘珠空港は札幌の都心に近いほど便利な空港なのです。

JR札幌駅から函館本線の「快速エアポート」に乗って、約40分で小樽到着。小樽駅はレトロな駅舎なうえ、古い駅名板や電灯などが大切に使われているほか、4番ホームは石原裕次郎がかつてテレビ番組で降り立ったことからモニユメントもあり、「裕次郎ホーム」との愛称も付いています。

駅を出てすぐの場所に有名な「三角市場」があり、ここで海鮮丼を食べて行くこうと思っていたのですが、まだ午前10時半というのに、どの店もすでに30分以上の待ち時間になっていました。家内はもともとと生魚が得意ではないことも



小樽駅の4番ホームは「裕次郎ホーム」との愛称が付いています。ここに来たらこれを見なくちゃ来た甲斐がありません。



北海道初の鉄道路線「旧手宮線」。以前は札幌以上の大都会だった小樽の繁栄をしのぶ遺構のひとつです。



ルタオ本店。本店限定のソフトクリーム「マリアージュ」を買って、無料のドーム展望室で外を眺めながら食べました。



「小樽オルゴール堂」の蒸気時計。15分おきに蒸気で「ウエストミンスターの鐘」を奏で続けていました。

リゾートがホテルにリノベ。建物内も階段やタイル等がそのまま使われ、当時の面影をしのぶことができました。

をはじめ、「六花亭」や「北菓

「旧小樽商工会議所」で、星野

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」

も近い「OMO5 小樽 by 星野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が宿泊した南館は

ここで小樽名物の「ザンギ」

今夜のホテルは小樽運河にも近い「OMO5 小樽 by 星野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が宿泊した南館は

の展示館を見学。特に「ステンドグラス美術館」はすばらしかったです。その後、観光客で賑わう「堺町本通り」を散策。

オの町を満喫してホテルへ。

まずホテルに立ち寄り荷物を預かってもらい、身軽になったところで、歴史的建造物を使った「小樽芸術村」の5つの展示館を見学。特に「ステンドグラス美術館」はすばらしかったです。その後、観光客で賑わう「堺町本通り」を散策。

堺町本通りを戻り、予約してあった「運河クルーズ」に乗船。船の上から運河沿いの古い倉庫群を見るのはなかなかいいもの。夕食はユーチューバーお薦めの回転寿司に行きました。こうして運河とルタオの町を満喫してホテルへ。

あり、海鮮丼はあきらめて散策しながら小樽名物を食べ歩きすることにしました。

楼」など、北海道を代表する銘菓店がいくつもあり、各店舗で試食しながら巡りました。



小樽といえば「小樽運河」。昼間は観光客で賑わっていますが、夜は人通りも少なく幻想的な雰囲気を楽しめます。



今回のホテル「OMO5 小樽 by 星野リゾート」。向かって左側が「旧小樽商工会議所」をリノベした南館。ここに泊まりました。



札幌に着いたら真っ先に行こうと決めていた羊ヶ丘展望台。「クラーク博士像」で記念撮影しちゃいました。



「札幌大通公園」。名古屋の久屋大通公園と似ていますが、テレビ塔が赤いので公園が東西に配置されています。

翌朝、午前6時半にホテルのおいしいビュフェ朝食をいただき、午前7時半にホテル

チェックアウト。8時前の普通電車で札幌へ向かいました。

小樽を出発したときはガラガラだった車内は、札幌に近づくにつれて混雑し、途中で満員電車になりました。乗車時

間約50分で札幌駅到着。地下鉄東豊線にのりかえ終点の「福住駅」へ。昨日と今日で東

豊線全区間乗車しました。

福住駅のバスターミナルから路線バスで「羊ヶ丘展望台」へ。目的はもちろん「クラーク

博士像」で、私にしては珍しく記念撮影してきました。

ここは有料施設になっていて、路線バスを降りたのちに1人千円をお支払い。名前の通り羊が放牧されているほか、

チャペルやクラーク記念館、さっぽろ雪まつり資料館などがありました。また、オースト

リア館の土産物店が非常に充実していて、ここで大半の北海道みやげが揃いそうです。

1時間ほど滞在したのち、路線バスと地下鉄をのりつぎ

「大通駅」下車。札幌の定番観光である「札幌時計台」や「大

通公園」を歩き、次の目的地

「赤れんが庁舎」へ。札幌は中心地にいくつも有名な観光地があり、歩いて回れるのが

いいところです。おまけにJR札幌駅も徒歩圏内でした。

赤れんが庁舎の1階には喫茶やお土産コーナーがあり、その一角に「白い恋人」という

スイーツラボがあって、ここで「白い恋人ソフトクリーム」を食べました。あまり濃厚で

はないあっさりしたソフトクリームに有名なお菓子「白い恋人」がトッピング。札幌といえば「白い恋人」なんです。

えば「白い恋人」なんです。



日本3大がっかり観光地と呼ばれている「札幌時計台」ですが、それでも多くの観光客が記念撮影していました。



「赤れんが庁舎」。令和の改修を終えてきれいになっています。館内で「白い恋人ソフトクリーム」をいただきました。



すすきのビルの有名な「ニッカウイスキー看板」。これも札幌の顔。本当は夜の電飾した看板が見たかったです。



「札幌ラーメン・悠(はるか)」。15分ほど並んで入りました。「みそラーメン」はまさに絶品。すごくおいしかったです。



札幌丘珠空港は小さな空港ですが、札幌市内中心部からは地下鉄と路線バスで20~30分という好立地。



用がなくても必ず市電には乗車します。札幌市電はいいことに環状路線。すすきので乗車してほぼ1周乗車しました。

この日はホテルのビュフェ朝食をがつつり食べたせいで、なかなかお腹が空かなかったのですが、12時を過ぎてそろそろお昼ごはんを食べに行くことにしました。札幌でのお昼ごはんは「札幌ラーメン」と決めていて、すすきの有名な「ニッカウイスキー看板」のあるすすきのビルの南、元祖ラーメン横丁にある「札幌ラーメン・悠(はるか)」へ。

私は「みそラーメン」を食べました。(う)はGoogleマップやぐるなびで高評価を獲得しているだけあって、とてもおいしいみそラーメンでした。まさに絶品。家内は「こんぶとほたての塩ラーメン」を注文していて、少しもらいましたが、こちららも具のこんぶとほたてから出汁が出ていて、とてもおいしい塩ラーメンでした。

昼食後はすすきのから市電に乗車。わが家は訪れた都市に市電があると、目的がなくても必ず市電に乗車します。あの独特な雰囲気が好きなので。札幌市電はすすきのから南西に環状運転していて、用もないのに乗車するのに最適でした。外回りに乗車して

ほぼ1周し、大通公園付近の電停で下車。再び大通公園を歩いて名物の「とうきびワゴン」で「とうきび(とうきびもろこし)」を購入。「焼き」と「ゆで」があり、「焼き」を買って食べましたが、これがめっちゃくちゃ甘くておいしかったです。最後に「セイコーマート」という北海道限定のコンビニでオリジナル商品を購入。これで計画していた札幌観光をすべて終え、地下鉄と路線バスで丘珠空港へ。1泊2日の小樽・札幌旅行でしたが、実に中身の濃い旅になりました。